

# 四賀地区 図書だより

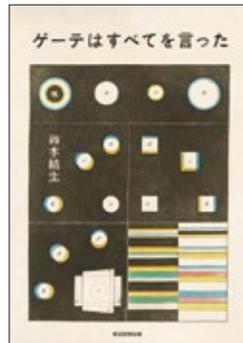
令和7年4月1日号

発行 四賀公民館図書視聴覚委員会  
(事務局 TEL 64-3112)

## 新着本の紹介

4月は年度の始まりであり、入学、就職など人生の転機を迎えるイベントが多い時期です。休日のひとときに、花見をしながら気分転換に、お気に入りの本をゆっくり読んでみませんか？

この図書だよりを参考に地域の皆さんが自分のお気に入りの本に出会えたらいいですね。



『ゲートはすべてを言った』

鈴木結生 著



『アルプス席の母』

早見和真 著



『カフェ』

阿部暁子 著



『禁忌の子』

山口未桜 著



『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂ミチ子 著



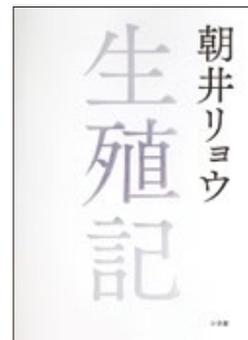
『小説』

野崎まど 著



『死んだ山田と教室』

金子玲介 著



『生殖記』

朝井リョウ 著



『人魚が逃げた』

青山美智子 著



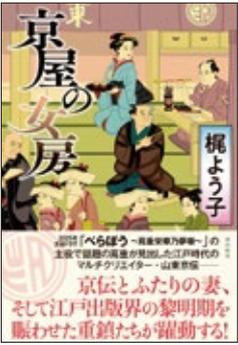
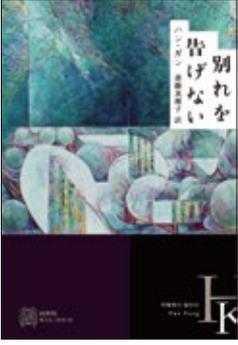
『牧谿の猿』

西條奈加 著



『謎の香りはパン屋から』

土屋うさぎ 著

 <p>『翳りゆく午後』 伊岡瞬著</p>	 <p>『ゆびさきに魔法』 三浦しをん著</p>	 <p>『京屋の女房』 梶よう子著</p>
 <p>『ひまわり』 新川帆立著</p>	 <p>『千年のフーダニット』 麻根重次著</p>	 <p>『別れを告げない』 ハン・ガン著</p>
 <p>『そんなときは書店にどうぞ』 瀬尾まいこ著</p>	 <p>『どうかしてました』 豊崎由美著</p>	 <p>『75歳からのがん治療』 小川朝生監修</p>
 <p>『にぎやかな過疎をつくる』 小田切徳美著</p>	 <p>『信州の絶景は どのようにできたのか』 赤羽貞幸・塚原弘昭監修</p>	 <p>『マンガで楽しく読める 星座と神話』 甲谷保和監修</p>
 <p>『はたらくくるまたちの はたけしごと』 シェリー・ダスキー・リンカー文</p>	 <p>『ノラネコぐんだん おりがみパンやさん』 いしばしなおこ作</p>	<p><b>編集後記</b></p> <p>高校生の頃、筒井康隆の SF が大好きでブラックジョークやナンセンスな世界に浸ってました。</p> <p>小説だから笑っていられたのですが、半世紀を経てやってきた現実世界の荒唐無稽なドタバタ劇は全く笑えません。</p>